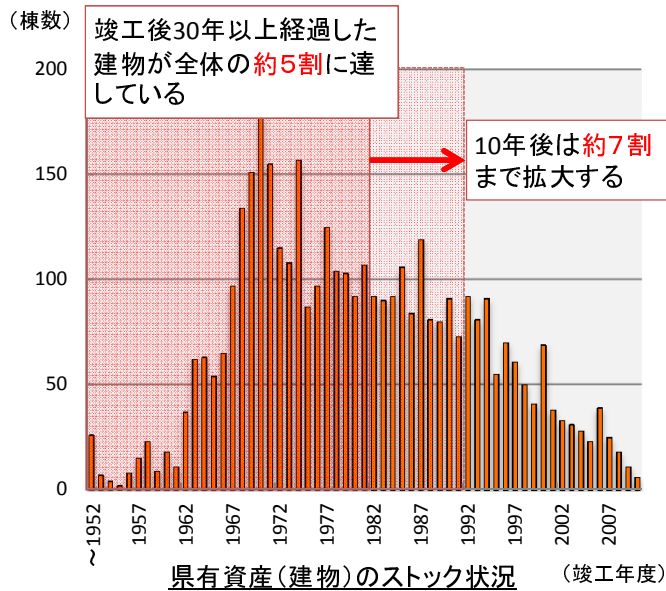


ファシリティマネジメントの推進 ～県有資産(建物・土地)の最適化を図る～

【1】現状と課題

県有資産(建物・土地)のうち、特に、建物(約800施設/約4,500棟)の老朽化が進行しており、今後さらに多額の維持管理費、改築・修繕費の増加が見込まれる。



【課題】

- 財政的な課題
施設の維持管理・修繕コストの増加により
厳しい財政状況をさらに圧迫
- 施設の供給面での課題
利用者のニーズの変化により低利用施設
が増加
- 施設の安全性・性能の課題
老朽化、耐震化などの施設の安全性への
対応不足

全庁的な視点で、県有資産を企画・管理・活用する必要がある。
(ファシリティマネジメントの導入)

【2】ファシリティマネジメントの取組み

(1) 保有総量最適化

- 施設評価による施設の選択
- 譲渡・売却 等

(2) 県有施設の有効活用

- 庁舎・職員公舎等の集約・共同利用
- 未利用・遊休施設の有効活用 等

(3) 長寿命化の推進

- 施設の維持管理の最適化
- 計画的な施設整備 等

+

県全体の課題への対応
省エネ、節電など

中長期的スケジュール

H20～24年度
基礎調査期

県有資産データベース作成



H24年度
準備・検討期

ファシリティマネジメント導入の
検討



H25～27年度
導入・推進期

ファシリティマネジメントの本格
導入



H28年度
運用・見直し期

ファシリティマネジメント導入の
評価と見直し